２０２２年　　６月発行　　第２９５号（通巻２９５号）

グッドのウッドニュース

オヤジライダーが行く１

初夏の様な清々しい日が続いている今日この頃ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。お元気でおりますか？まわりの水田では田植えもほとんど終わり、少しずつ緑へと変わってきています。やっと良い季節へとなって参りました。このまま好天が続けばと思いますが、今月は梅雨の季節です。肌寒さや、ジメジメ感もあります。また食中毒の時期でもありますので皆さんくれぐれもご注意下さい。

さて、先月の連休にオヤジライダーは2泊3日のキャンプツーリングに行って来ました。連休後半で、天気も良かったので楽しんでまいりました。バイクのチェック、荷物の準備は前日にしておき、当日は家族に見送られ午前 8 時前に出発です。今回のツーリングは**伊那谷周辺、大鹿村、飯田、一部山梨県**を巡るコースです。まずは白樺湖まで行き、そこから茅野市へと出ました。ここから**ほぼ国道 152 号線**を走ります。いったん国道 20 号に入りここから**入笠山**（高原）へと昇る林道に入りました。この辺りは林道が多い所ですし、何度か来ています。転ばぬ様に、また気合を入れて進んで行きます。山の中はとても清々しくて気持ちが良いものです。ただ後ろには荷物を積んでいるので、バイクの上で立ったり座ったり、前後の体の移動時に邪魔になってしまいます。まあこれはしょうがない事なのでいつもよりはゆっくり走りました。頂上手前、林道を抜けた所で休憩。神奈川からのライダーと話しをして林道情報の交換をします。通れない道も多いですからそのあたり大切です。その後、**町道高嶺線**という 17 ㎞程の林道を程々のスピードで走り下り、また 152 号に出ました。もう体は汗だくになってしまいました。ここからさらに 152 号を進むと**美和ダム（湖）**が現れ、その先に**南アルプスむら長谷**という道の駅があります。オヤジライダーさっそくここに寄りました。こじんまりした所ですが、緑が綺麗な所です。連休中とあって結構混んでいました。もうお昼なので食事をと思いましたが、皆ソフトクリームを食べていましたので、オヤジもソフトクリームを買い、何故だか**カップルの向かい**にわざわざ座って、邪魔なオヤジライダーは一人ぺろぺろと美味しそうに食べたのでありました。**けげんそうな２人**の刺さるような視線を浴びながらも元気になったオヤジは、下調べしておいた無名の林道へ迷いながらも行きました。ここは鹿よけなのか柵とゲートが設けられており、またクマ出没注意の看板も立っていて入れません。が、そこから出てきたおじさんに聞くとやはり入山禁止だと言われてしまいました。あきらめて行こうとすると軽トラの老夫婦が中から出てきたので聞くと、山菜の時期以外は大丈夫だというので、さっそくゲートを開けて勝手に入山しました。（オヤジライダーはとりあえず行ってみる）この林道、あまり車は走っている形跡がありませんでしたが、オヤジライダーは調子良くどんどん山中へ入っていきました。入口から数キロ程進んだ所から道は急こう配になり荒れ、山側は崩れ、谷が深くなってきました。また車が通った形跡もありません。オヤジ鬱蒼とした山の中このまま進んで大丈夫か**とても怖くなり**、引き返すことにしました。その後は無事にゲートまで戻り、ちゃんとゲートを締めて出てきました。しかし懲りないオヤジライダーはすぐ様次の林道へ向かいます。今度はしっかり管理された林道で、**長谷高遠線**です。ここの林道は走りやすく、また南アルプスの山並みが綺麗に見え、眼下には美和湖も見えます。途中崩れている所もありましたが、難なく通れました。林道の合流点で休憩、名古屋からの 3 人組ライダーと挨拶をし、また進みます。その先の林道に行きましたが、残念ながら数キロ先で林道掘削中のため引き返し、**林道馬坂線**で、また国道 152 号に出ました。もうガソリンも無いので近くの GS をスマホで調べ、いったん戻って満タンにした後、また 152 号を南下しました。もう午後 3 時を回ってしまったので今日のキャンプ場を見つけなければなりません。地図で中川村の方に有ったのでそこへ行くことにします。152 号をまた南下し、**ゼロ磁場パワースポットで有名な分杭峠**の手前の中山峠より県道 40 号へ入り、その先市道 210 号にてまた山の中へ行きます。だいぶ進んで行くとやっとキャンプ場に到着です。今日は連休中、結構混んでいます。オヤジライダー、いつも飛び込みなので予約無しだが泊まれるか聞くと、案の定**「予約で一杯です」**との事。以前もオートキャンプ場で断られた事があったのでしょうがないかと思っていたら、バイク好きの管理人兄ちゃんが、テントは小さいですか？と聞くので、**ね、ね、猫の額ぐらいしかありません！！**と必死のアピール。この成果が実り、ここで泊まる事ができました。ふ～良かった。ダメなら何処かの道の駅にでも行こうかと思っていたので助かりました。ただ周りはカップルか家族連れの立派なテントばかりで、ライダーと小さなテントはオヤジだけでした。それでも仲良くなった管理人の兄ちゃんの所で食料は無かったが、冷えたビールを買い込み、さっそく飲みました。今日は暑かったので、とてもうまかった！もう疲れたのでテントでひと休みしました。その後食事の時間となりましたが、辺りからはバーベキューやら何やらの美味しそ～な匂いと楽しそうな笑い声が聞こえてきますが、オヤジライダーといえばこれといった食料は無し。ましてや山の中のキャンプ場なので近くにお店もありません。唯一非常用に持ってきたインスタントラーメンがあったので、それをガスコンロで調理し鍋のまま食べましたが、ナイーブなオヤジはこの時ばかりはテントに籠り、人に見られない様にして食べました。何たって**「隣の晩御飯」**との差が大きすぎるのですから。そして昼間はあんなに暑かったのに夜になると急に冷え込んできました。靴下を履き、ヒートテックを着てその上にトレーナー、その上にパーカーを着て、寝袋に入りましたが、まだ寒く、パーカーのフードをかぶり、そのうえマスクをし、寝袋の足元にはジャケットを掛けて、凍えながら寝ました。そんな時オヤジライダー、こんな事してるッて**「俺ってやっぱりまだ若いよな～」**などと勝手に思いながら朝を待つのでした。（つづく）